ACSES ニュースレター_２３０２号（2022 年４月 25 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（16 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇体のしびれなどで従業員搬送　工場火災４時間半後に鎮火　中津市・大分〈放送報道〉
◇ロシア国防省の研究施設で火災、６人死亡…ウクライナ攻撃で使用のミサイル開発〈新聞報道〉
◇その他の事故、事件
・消費生活用製品の重大製品事故:リコール製品で負傷事故等(スピーカー(天井埋込式)、携帯電話機(スマートフォン)、バッテリー(リチウムイオン、電気掃除機用)、電子レンジ)〈消費者庁〉
・４７人搬送４人が重症　税務大学校で集団食中毒か　大阪・枚方市〈放送報道〉／集団食中毒か、大阪で 48 人搬送　税務大学校研修所〈Web 報道〉
◇事故、事件の続報
・三菱電機の不正変圧器、全国の鉄道や発電所に納入　国は事実確認要請〈新聞報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟等
・「令和３年度 救急業務のあり方に関する検討会 報告書」の公表〈総務省消防庁〉
・水俣病１人認定、3 年ぶり　熊本県、患者 1791 人に〈Web 報道〉
・労災レセプト電算処理システム　帳票・ＣＳＶファイル説明書等〈厚生労働省〉
・労災レセプト電算処理システム　マスタファイル仕様説明書等〈厚生労働省〉
□大災害、原発事故対策
[原子力施設全般]
・もんじゅ、核燃料取り出し完了　廃炉作業で計 370 体〈Web 報道〉
[大災害対策]
・災害応援受け入れ計画８割策定へ　市区町村、22 年度中に〈Web 報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇マスコミ報道　見出し
[3] 食品安全衛生関係
◇特定保健用食品の表示許可について〈消費者庁〉
[4] 廃棄物関係
◇立命館大生の知恵で規格外野菜を変身　フードロス減らせ〈新聞報道〉
[5] 温暖化対策関係
◇膨らむ気候難民、3000 万人超　紛争難民の３倍　チャートは語る
◇40 年脱炭素に世界 300 社賛同　半年で 1.5 倍、日本２社のみ〈新聞報道〉
◇脱炭素投資３倍の 17 兆円に　30 年推計、促進へ官民連携〈Web 報道〉
[6] その他省庁発表
◇令和４年度　クールビズについて〈環境省〉
[7] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
[開催案内]　５件
[8] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：３件　◇その他：２件

大葉子（オオバコ、車前草（シャゼンソウ））

［付録］
◇「パーソナル筋力トレーニング」でのけがや体調不良に注意！－コロナ禍でより高まる健康志向や運動不足解消の意外な落とし穴！？－〈国民生活センター〉
◇マグネットパズルの破損に注意－内蔵された強力な磁石を誤飲した幼児の胃や腸に穴があく事故が発生－〈国民生活センター〉
◇「くしゃみの速度は新幹線より速い」は本当か？　コロナ禍の研究で判明した真の速度〈Web 報道〉

****

［1］***化学物質関係事故、事件関係***

◇体のしびれなどで従業員搬送　工場火災４時間半後に鎮火　中津市・大分
＜テレビ大分　2022 年 4 月 23 日＞　https://www.fnn.jp/articles/-/351153
２２日夜、中津市のプラスチック製品などを製造する工場で火事がありました。
従業員２人が搬送されましたが命に別条はないということです。
火事があったのは中津市犬丸の積水化成品大分です。
警察と消防によりますと、２２日午後９時前、工場の従業員から「製品が燃えている」と１１９番通報がありました。
消防車１０台などが出動し消火活動が行われおよそ４時間半後に鎮火が確認されましたが、工場内のおよそ２８００平方メートルが焼けたということです。
この工場ではプラスチック製品などを製造していて、出火した場所で作業をしていた２０代と３０代の男性従業員合わせて２人が病院に搬送されました。
このうち１人は体のしびれを訴えていましたが、２人とも命に別条はないということです。
警察と消防が火事原因などを調べています。

◇ロシア国防省の研究施設で火災、６人死亡…ウクライナ攻撃で使用のミサイル開発
＜読売新聞　2022 年 4 月 22 日＞　https://toyokeizai.net/articles/-/584361
　タス通信によると、モスクワ北西のトベリ州にある露国防省の研究施設で２１日に火災が発生し、６人が死亡、２４人が負傷した。施設は露軍がウクライナ侵攻に投入している短距離弾道ミサイル「イスカンデル」や、防空ミサイルシステムの開発に携わっており、出火の背景に関心が集まっている。
　露捜査当局は出火原因について、配線の老朽化に伴う漏電の可能性を指摘した。
　この日は、露中部イワノボ州にある大規模な化学工場でも火災が発生した。負傷者は伝えられていない。
　露軍は、ウクライナと隣接する自国領が「ウクライナ軍の攻撃を受けた」などと主張してきた。だが、21 日の 2 件の火災については、ウクライナを名指しする声は上がっていない。

◇その他の事故、事件

・消費生活用製品の重大製品事故：リコール製品で負傷事故等（スピーカー（天井埋込式）、携帯電話機（スマートフォン）、バッテリー（リチウムイオン、電気掃除機用）、電子レンジ）
＜消費者庁　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/028528/
　　https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_220422_01.pdf
特記事項：
- ボーズ株式会社（現 ボーズ合同会社）が輸入したスピーカー（天井埋込式）のリコール（回収・交換）
- フリービット株式会社が輸入し、株式会社ドリーム・トレイン・インターネットが販売した携帯電話機（スマ

ートフォン)のリコール(無償製品交換・商品券との交換)

- 有限会社すみとも商店(倒産)が輸入したバッテリー(リチウムイオン、電気掃除機用)のリコール
- 三洋電機株式会社が製造した電子レンジのリコール(無償点検・修理)

１．ガス機器・石油機器に関する事故：４件
（うち石油ストーブ（開放式）１件、石油温風暖房機（開放式）１件、石油給湯機付ふろがま１件、屋外式（ＲＦ式）ガス給湯器（都市ガス用）１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故：７件
（うちスピーカー（天井埋込式）１件、携帯電話機（スマートフォン）１件、バッテリー（リチウムイオン、電気掃除機用）２件、照明器具（ソーラー充電式、屋外用）１件、照明器具（投光器、充電式）１件、電子レンジ１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故：４件
（うちマッサージ器（充電式）１件、ＩＨ調理器１件、発電機（携帯型）１件、自転車１件）

・<u>４７人搬送４人が重症　税務大学校で集団食中毒か　大阪・枚方市</u>

＜ABC ニュース　2022 年 4 月 22 日＞　https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000252471.html
https://news.yahoo.co.jp/articles/c4ed46066c4724b93cefbbcdece9fd946bceeda2

大阪府枚方市にある税務大学校大阪研修所で、およそ５０人が腹痛や嘔吐などの症状を訴え救急搬送されました。

消防によりますと２２日午後８時半すぎ、「２０歳の女性が２時間前に食事をして腹痛嘔吐の症状」と、税務大学校の職員から通報がありました。

救急隊が駆けつけると、同様の症状を訴える人が多数いて、救急車など２０台が出動し、１８歳から２１歳の男女４７人が病院に搬送されました。

そのうち４人が重症です。

大阪国税局によりますと税務大学校大阪研修所では研修中の税務職員１４９人が寮生活をしていて、寮の食堂で夕食を食べたあと症状を訴えだしたということです。

集団食中毒が起きた可能性があり、枚方市保健所が原因を調べています。

・<u>集団食中毒か、大阪で 48 人搬送　税務大学校研修所</u>

＜共同通信　2022 年 4 月 23 日＞　https://nordot.app/890403861720809472?c=39546741839462401

大阪府枚方市の税務大学校大阪研修所で 22 日夜、食中毒が疑われる腹痛や嘔吐の症状を研修生らが訴えた。大阪国税局は 23 日、研修所の寮内にある食堂で 22 日午後に 18～21 歳の研修生の男女約 150 人が夕食を取り、うち 40 人以上が病院に搬送されたと明らかにした。地元消防が、呼吸困難などの重い症状の 4 人を含む 48 人を搬送。研修所と同市保健所は、集団食中毒の可能性もあるとみて調査する。

大阪国税局によると、4 月に入所した研修生 165 人のうち 149 人が、敷地内の寮で生活。22 日は研修を終えた後、午後 5～7 時に食事をした。メニューは、みそ野菜炒めやチキンの赤ワイン煮など。

◇<u>事故、事件の続報</u>

・<u>三菱電機の不正変圧器、全国の鉄道や発電所に納入　国は事実確認要請</u>

＜朝日新聞　2022 年 4 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASQ4Q6S47Q4QULFA01F.html

三菱電機が変圧器の検査や性能をめぐり不正をしていた問題で、納入先の鉄道や電力会社は 22 日、確認作業に追われた。いまのところ安全性に影響はないとしつつ、改めて点検するという。国土交通省と経済産業省は 22 日までに三菱電機に、事実関係の確認と再発防止を求めた。

問題の変圧器は、系統変電システム製作所赤穂工場（兵庫県赤穂市）でつくられた。1982～2022 年 3 月に出荷された 8363 台のうち 3384 台で不正があった。出荷前の温度試験で規定より高い温度になったのに、成績書に虚偽のデータを記した事例もあったという。

関係者によると、三菱電機の製品は 1500 台ほどが全国の鉄道各社に納入されていた。そのうち不正があった台

数ははっきりしていない。国土交通省は、不具合があれば報告するよう全ての鉄道事業者に通知した。
　JR 東日本は、在来線や新幹…

◇***事故・事件対策、措置、訴訟等***

・「令和３年度 救急業務のあり方に関する検討会 報告書」の公表
＜総務省消防庁　2022 年 4 月 23 日＞
https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220414_kyuuki_01.pdf
　高齢化の進展や生活様式の変化等を背景として、救急需要が多様化する中、いかにして救急業務を安定的かつ持続的に提供するかは、救急業務における主要な課題となっています。こうした課題に対応するため、令和３年度の救急業務のあり方に関する検討会においては、「救急業務の円滑な実施と質の向上」、「救急車の適正利用の推進」等を目的として、「救急業務におけるメディカルコントロール体制のあり方」、「蘇生ガイドライン改定への対応」、「ICT 技術を活用した救急業務の高度化」、「救急安心センター事業（＃7119）の全国展開に向けた検討」の４項目について検討を行いました。
　この度、検討結果を報告書として取りまとめましたので公表します。
○ 報告書の概要（別添参照）
（1）救急業務におけるメディカルコントロール（MC）体制のあり方
救急業務における MC 体制の PDCA の取組の推進及び救急救命士等の教育体制に関する検討を行いました。
（2）蘇生ガイドライン改訂への対応
「JRC 蘇生ガイドライン 2020」の公開及び「救急蘇生法の指針 2020（市民用）（従事者用）」の改訂に伴い周知等が必要となる事項について検討するとともに、応急手当の普及啓発の促進のために必要な検討を行いました。
（3）ICT 技術を活用した救急業務の高度化
医療機関との連携強化に向けた救急業務における「５G を活用した映像伝送」及び救急業務の高度化・簡素化に向けた「音声認識を活用した自動文字起し」について、実証実験を行い、それぞれの有用性等について検討を行いました。
（4）救急安心センター事業（＃7119）の全国展開に向けた検討
「事業導入・運営の手引き／マニュアル」及び「事業を外部委託する際に活用可能な標準的な仕様書（例）」を作成しました。
○ 報告書の全文は、消防庁ホームページに掲載しています。
・報告書の全文（URL: https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-93.html）

・水俣病１人認定、3 年ぶり　熊本県、患者 1791 人に
＜共同通信　2022 年 4 月 22 日＞　https://nordot.app/890177468479209472?c=39546741839462401
　熊本県は 22 日、四大公害病の一つ、水俣病の患者に、70 代男性 1 人を新たに認定したと発表した。19 日付。認定理由や男性の居住地などは明らかにされていない。県による患者認定は 2019 年 4 月以来 3 年ぶり。
　水俣病は 5 月 1 日で 1956 年の公式確認から 66 年を迎える。亡くなった人も含めて、同県はこれまでに計 1791 人を認定する一方で、延べ 1 万 3 千人以上の申請を棄却した。
　県によると、複数の医師でつくる県審査会は 3 月、50 代以上の男女 20 人を審査。答申に沿って、県は 1 人を認定し 18 人を棄却した。4 月 19 日現在、350 人が審査中。

・労災レセプト電算処理システム　帳票・ＣＳＶファイル説明書等
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=5x05udiMZBZVAAN1Y
・労災レセプト電算処理システム　マスタファイル仕様説明書等
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=hX9b27ruBnQ3YmIXY

□***大災害、原発事故対策***

[原子力施設全般]

・もんじゅ、核燃料取り出し完了　廃炉作業で計 370 体
＜共同通信　2022 年 4 月 22 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/b3fd351c21f32b9dadcec43eeadbeeb845744182
　日本原子力研究開発機構は 22 日、廃炉作業中の高速増殖原型炉もんじゅ（福井県敦賀市）の原子炉内にあった核燃料計 370 体の取り出しを終えたと発表した。2019 年 9 月以降、数回に分けて取り出し作業をしており、今年 3 月 30 日から最後の 124 体を取り出していた。
　機構によると、今回取り出した燃料は、原子炉横の冷却材の液体ナトリウムで満たされた「燃料貯蔵槽」に入っており、6 月ごろから「燃料池」と呼ばれるプールへの移送作業を始め、12 月までに終える予定。
　取り出し作業前から貯蔵槽にあった 160 体と合わせ、最終的に計 530 体がプールに保管されることになる。

[大災害対策]
・災害応援受け入れ計画 8 割策定へ　市区町村、22 年度中に
＜共同通信　2022 年 4 月 22 日＞　https://nordot.app/890205930024173568?c=39546741839462401
　大規模災害に備え、他の自治体からの応援職員受け入れ手順を定めた「受援計画」について、全国 1741 市区町村のうち 8 割超が 2022 年度中に「策定済み」となるとの見通しが 22 日、総務省消防庁の調査で分かった。一方で 1 割は策定時期すら未定のままで、地域間で格差も出ている。同庁担当者は人員不足を課題に挙げ、さらに策定を促すとしている。
　大規模災害時、被災者支援や廃棄物処理、罹災証明書の交付や施設復旧など基礎自治体の業務負担は重い。受援計画は応援職員受け入れ担当者の役割や、必要人数の把握と要請の流れなどを事前に整理したものだ。
****
[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*
[状況]
◇省庁発表
・「水際対策に係る新たな措置について」HP を更新しました
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=3ScDg-K2XixvOiNPY
・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和４年４月 24 日版）
＜厚生労働省　2022 年 4 月 24 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25383.html
・新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者等の発生について（空港検疫）
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=CfPXVzZiivi77uubY
・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（検疫）
＜厚生労働省　2022 年 4 月 24 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25384.html
・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、空港検疫事例）を更新しました
＜厚生労働省　2022 年 4 月 24 日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00347.html
・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s0lt7YzYMEIBVGIhY

[対策・予防]
◇省庁発表
・新型コロナウイルス感染症対策に係る各医療機関内の病床の確保状況・使用率等の報告を掲載しました。
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=7Rczs9KGbhxfCgN_Y
・一般事業者からの問合せに対応できる医薬品卸売業者等について更新しました。
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=c4mtLUwY8ILBlKPhY

・自費検査を提供する検査機関一覧を更新しました。

＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=kWtPz676EmAjdkYDY

・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=PcfjYwJWvsyP2uuvY

・入国後の自宅等待機期間の変更等について を掲載しました。
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wzkdnfyoQDJxJCJRY

◇<u>ワクチン、検査薬、治療薬等</u>
・塩野義製ワクチン安全性懸念なし　臨床試験での結果を発表
＜共同通信　2022 年 4 月 22 日＞
https://nordot.app/890151709761880064?c=39546741839462401

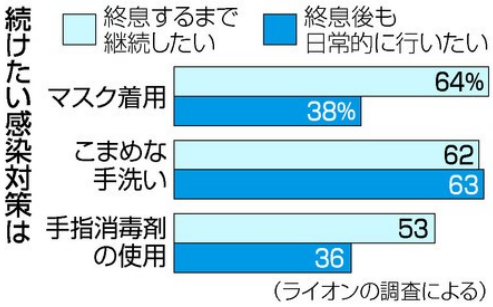
◇新型コロナ、マスクいつまで　「終息後も着用」４割弱
＜時事通信　2022 年 4 月 24 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2022042300345&g=soc
新型コロナウイルスの感染拡大から２年が経過し、比較的重症化しにくい変異株「オミクロン株」が流行する中、マスクをいつ外せるかに関心が集まりつつある。ライオンの調査では、コロナ終息後も日常的に着用したいと回答したのは４割弱で、マスク着用をやめたいと思っている人も多いようだ。

調査は昨年１１月にインターネットで、１８～６９歳の男女６００人を対象に実施した。マスクの着用について、「終息するまで継続したい」との回答が６４％だったのに対し、「終息後も日常的に行いたい」は３８％にとどまった。

他の感染対策では、手指の消毒剤を終息後も使用する人は３６％にとどまる一方、小まめな手洗いは終息前、終息後ともに６割強が実施したいと回答。コロナ前からの習慣については、抵抗が少ないとみられる。

感染拡大初期から治療に携わってきた防衛医科大学校の藤倉雄二准教授は、マスクには熱中症など健康上のデメリットもあると指摘。ウイルスが再び強毒化するなどの変化がなければ、「換気が不十分で密な環境では着けた方がいいが、それ以外では外していい」との考えだ。

現在は体育の授業でもマスクを着けている学校が多く、暑い季節が近づく中、不安に思う人も少なくない。日本社会は同調圧力が強くマスクを取りにくい空気がまん延しているとの指摘もあるが、藤倉氏は「マスクを外すタイミングをそろそろ本格的に議論すべきだ」と呼び掛けている。



◇<u>マスコミ報道　見出し</u>
・重症病床増の病院１割のみ　コロナ５波後、医労連調査
＜共同通信　2022 年 4 月 22 日＞　https://nordot.app/890166543000092672?c=39546741839462401
・山際経済再生相、マスク着用の段階的緩和検討を示唆
＜毎日新聞　2022 年 4 月 24 日＞　https://mainichi.jp/articles/20220424/k00/00m/010/072000c
****

[3] ***<u>食品安全衛生関係</u>***
◇<u>特定保健用食品の表示許可について</u>

＜消費者庁　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/028508/
https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms206_220422_02.pdf
今回、特定保健用食品の許可等を受けた食品
・特茶 TOKUCHA ジャスミン　　サントリー食品インター ナショナル株式会社　　茶系飲料
ケルセチン配糖体（イ ソクエルシトリンとし て）
・特茶 TOKUCHA ほうじ茶　　サントリー食品インター ナショナル株式会社　　茶系飲料
ケルセチン配糖体（イ ソクエルシトリンとし て）

****

[4] ***廃棄物関係***

◇立命館大生の知恵で規格外野菜を変身　フードロス減らせ

＜朝日新聞　2022 年 4 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASQ4Q6X1LQ4NPTJB00D.html

規格外のホウレン草と小松菜の食品ロスをなくそうと、立命館大学の食マネジメント学部（滋賀県草津市）の学生と彦根の農業法人が、野菜を使ったクッキーなど 3 商品を開発した。学生は「生まれ変わった野菜との出会いで規格外野菜やフードロスに関心を持ってもらいたい」と呼びかけている。23 日から滋賀県彦根市などのスーパーで販売する。

生産過程で出る規格外の野菜に悩んでいた農業法人あいふぁーむ HIKIDA（彦根市）。社長の疋田翔悟さん（37）が、食マネジメント学部の学生に有効活用のアイデアを呼びかけ、有志 13 人が集まった。

学生たちはインターンシップで昨年 9 月から今月にかけ、疋田さんの農園で収穫を体験。ホウレン草や小松菜の規格外野菜を目にした。「まだまだおいしく食べられるのに、大きくなってしまうと規格外に。こんなにたくさんあるなんて知らなかった」と話す。

その後、学生たちは規格外野菜を使った商品を企画し、製造業者の選択や販売先の確保まで担った。

19 日に披露された商品は「ほうれん草のジェノベーゼ」（税込み 918 円）▽小松菜パウダーを生地に練り込んだ「小松菜のスノーボールクッキー」（同 300 円）▽HIKIDA の米粉と小松菜を使った「小松菜と米粉のパンケーキミックス」（同 702 円）。

パンケーキミックスを企画した河本真尋さん（20）は「コロナで共食が見直された。親子や家族で一緒に作るところから楽しんでほしい」。社長の疋田さんは「パッケージデザインなど学生の柔軟な発想で、多くの消費者に届けられるようになった」と話す。

23 日と 5 月 4 日の午前 10 時～午後 4 時に彦根市のスーパー「パリヤ」、5 月 5 日と 8 日の午前 10 時～午後 4 時に近鉄百貨店草津店 2 階のマルシェで販売する。

今後、道の駅やスーパーなど県内 8 カ所でも販売予定。なくなり次第終了。問い合わせは疋田さん（090・5977・8534）へ。

****

[5] ***温暖化対策関係***

◇膨らむ気候難民、3000 万人超　紛争難民の 3 倍　チャートは語る

＜日経新聞　2022 年 4 月 24 日＞　https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCB145CY0U2A410C2000000/

地球温暖化に伴う異常気象で住まいを追われる「気候難民」が各地で増えている。その規模は、武力紛争が原因で生じる難民の 3 倍に上り、2050 年までに 2 億人を超すとの試算もある。自然災害に国境はない。各国は防災や難民対策で協力態勢を整える必要に迫られている。

「雨期の洪水は毎年のことだが頻度と規模が異常だ」。国連難民高等弁務官事務所の専門家ニアル・ティートマメル氏は 3 月、南スーダン北部オールド・ファンガ...

◇40 年脱炭素に世界 300 社賛同　半年で 1.5 倍、日本 2 社のみ

＜日経新聞　2022 年 4 月 24 日＞　https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA207IU0Q2A420C2000000/

温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」より 10 年早い 2040 年までの排出量実質ゼロをめざす有志の企業連合「クライメート・プレッジ」の賛同企業が 300 社を超えた。半年あまりで 1.5 倍に増えたが日本からは 2 社のみ。取引先を含む脱炭素計画が必要でハードルが高い。環境・社会・企業統治（ESG）投融資の獲得競争が激化するなか

日本企業も対応を迫られる。
「野心的な目標で排出ゼロの海運を求める顧客に応えたい」。デ...

◇脱炭素投資３倍の 17 兆円に　30 年推計、促進へ官民連携
＜共同通信　2022 年４月 22 日＞　https://nordot.app/890191888309583872?c=39546741839462401

経済産業省は 22 日、2050 年の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の実現に向け、30 年に少なくとも年約17兆円の投資が必要になるとの推計を示した。現在の3倍程度に増える計算だ。企業の投資を促すため、政府が事業リスクの大きさなどに応じて補助金や税制優遇といった支援を行い、官民で連携して取り組む必要性を強調した。

脱炭素に向けた「クリーンエネルギー戦略」の有識者会議で公表した。直近の関連投資は 5、6 兆円程度という。30 年に向けて拡大した後も同規模の投資が続く見通しだ。

****

[6] ***その他省庁発表***

◇令和４年度　クールビズについて
＜環境省　2022 年４月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/110933.html

１．2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた一人ひとりのライフスタイルの脱炭素型への転換を推進する取組の一つとして、室温の適正化とその温度に適した軽装などの取組を促す「クールビズ」を今年度も推進します。
２．昨年同様、地域による気候の違い等を踏まえ、全国一律の実施期間の設定は行いませんので、各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただくようお願いします。
３．環境省としては、例えば東京においては、例年５月から９月は夏日が月の半数以上であることを踏まえ、５月～９月末まで集中的に呼び掛けを行います。
４．また、一般社団法人 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会と連携し、各団体会員企業の店舗において、冷房温度緩和の取組を行うなど、クールビズの取組を推進いただきます。

■　概　要

クールビズは、適切な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただくことで、多様で柔軟な働き方にも資する省エネ・省 CO2 を図るものです。

昨年同様、地域による気候の違い等を踏まえ、政府が全国一律の実施期間の設定を行うことはしませんので、各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装の取組をお願いいたします。

環境省としては、例えば東京においては、例年５月から９月は夏日が月の半数以上（参考参照）であることを踏まえ、この期間（５月～９月末まで）に集中的に呼び掛けを行います。

環境省では、クールビズの実施を始めとして、住宅の断熱化や太陽光パネルの設置、省エネ家電への買換え、EV 等の電動車の導入、ワンウェイプラスチックや食品ロスの削減など、脱炭素型のライフスタイルへの転換を呼び掛けていきます。
具体的な行動の実践に当たっては、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットをまとめた「ゼロカーボンアクション 30」も参照ください。
【クールビズとは】

地球温暖化対策の一環として、平成 17（2005）年度から政府が提唱する、過度な冷房に頼らず様々な工夫をして夏を快適に過ごすライフスタイル。
室温の適正化とその温度に適した軽装などの取組を呼び掛けています。軽装以外の取組としては、省エネ型エアコンへの買換え、西側の日よけのブラインド、日射の熱エネルギーを遮蔽する効果がある緑のカーテンなどを推奨しています。
【ゼロカーボンアクション 30 とは】

日常生活において取り組むことのできる具体的な脱炭素化のための30項目の行動の選択肢と、暮らしを脱炭素化することによる様々なメリットを「ゼロカーボンアクション30」として発信し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国民一人ひとりの脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進しています。
(http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/)

■　クールビズ　知っておいていただきたいポイント

○クールビズは気温に合わせた柔軟なライフスタイル

熱中症予防の観点も踏まえ、冷房時の外気温や湿度、建物の状況、体調等を考慮しながら、無理のない範囲で、冷やしすぎない室温管理の取組をお願いします。

大切なのは、無理せず、かつ過度な冷房に頼らないことです。

○健康につながるクールビズ

平成19（2007）年に「猛暑日」が設定され、平成30（2018）年には、日本の観測史上最高気温（埼玉県熊谷で41.1℃）を更新、令和2（2020）年も(静岡県浜松で41.1℃)同最高気温を観測するなど、年々暑さが増しています。

こうした中、外気温と室温との差が大きいと、体の自律神経やホルモンバランスを崩しやすくなったり、冷えに慣れて汗をかかないでいると、汗腺が退化して、体温調整機能が働かなくなってしまうなど、健康への影響を指摘する専門家もいます。暑くなってきているからこそ、体にやさしい、地球にやさしいクールビズを実践する意義が高まっています。

○お財布にも優しいクールビズ

クールビズは、軽装などの取組を実践することにより、快適に夏を過ごしつつ「冷房の適切な使用」を実践し、冷やし過ぎないことを目的としています。冷房の使用に当たっては、例えば、フィルターを定期的に掃除したり、夏場、家に帰って室内に熱がこもっている場合は、まず窓を開けて熱気を逃がしてから冷房をするなど、エアコンを賢く使用することで、冷房効率が上がり、お財布にも優しくなります。

○脱炭素型のライフスタイルにつながるクールビズ

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、再生可能エネルギーの普及拡大とともに、省エネの取組も重要です。比較的気軽にできるクールビズによる省エネの取組をきっかけに、更に「ゼロカーボンアクション30」なども参考にしていただき、健康、快適、経済的で脱炭素型のライフスタイルに、まずはできるところから取り組んでいただければ幸いです。

■　クールビズ　環境省による情報発信

○クールビズサイト

・クールビズに関する情報を掲載しています。

https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/coolbiz/

○ダウンロードポスター

・クールビズポスターのデータを、以下よりダウンロードできます。

http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/tool.html

■　各業界における取組事例

○一般社団法人 日本百貨店協会との連携

日本百貨店協会では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素型ライフスタイルへの転換を衣・食・住の様々な商品を通じてお客様に呼び掛けます。また、クールビズの実施により、熱中症対策への呼びかけも行います。

○日本チェーンストア協会での取組

日本チェーンストア協会では、環境対策や節電の継続の重要性の両面からクールビズに協力し、会員企業の店舗内の空調の適正な温度設定を実施します。お客さまに御理解をいただきながら、従業員の夏の軽装の実施やお客さまへの暑さ対策の提案などを通じて、ライフスタイルの変革を呼び掛け、クールビズの周知に取り組みます。

○一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会での取組

日本フランチャイズチェーン協会では、地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してクールビズの取組を呼び掛けています。会員企業では"店内を適正温度に設定""ユニフォームの軽装化"など、各企業

がそれぞれの取組を行う予定です。
（詳細は日本フランチャイズチェーン協会ホームページに掲載）
https://www.jfa-fc.or.jp/

■　家庭の CO2 排出量等を簡易に推計できる各種ツールについて

環境省では、家庭の CO2 排出量等を簡易に推計できるツールを公開しています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応として、自宅で過ごす時間が長くなったこのタイミングで、パソコンやスマートフォンで、家庭の電気・ガス使用量や CO2 排出量、家電の省エネ性能を確認してみてはいかがでしょうか。

〇省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」

家電を買い換える際に、購入予定製品（新）と使用中の製品（旧）の情報を入力することで、新旧製品の年間の消費電力量・電気代・CO2 排出量の比較が簡単にできるツールを公開しています。以下から御活用ください。
（http://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/）

〇うちエコ診断のワンポイントアドバイス・ツール

電気・ガス料金等の情報から各家庭の CO2 排出量を簡単にチェックできるツールを公開しています。改善のためのアクションや、それを実施した場合の光熱費の節約や CO2 削減の効果も同時に確認できます。以下から御活用ください。
（https://www.uchieco-shindan.jp/jushin/check.php）

（参考）過去５年間の夏日（日最高気温 25 度以上）平均日数

	5 月	9 月	10 月
札幌	3.6 日	8.0 日	0.4 日
仙台	7.8 日	17.4 日	2.6 日
東京	16.8 日	21.8 日	7.6 日
大阪	17.2 日	27.0 日	10.8 日
福岡	17.2 日	27.8 日	10.0 日
那覇	28.2 日	30.0 日	29.0 日

気象庁　各地のデータより作成

****

[7] ***<u>関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等</u>***

[開催案内]

・<u>薬事・食品衛生審議会（食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会）</u>　　4 月 28 日
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8Qsvr86acgBDFiJjY
１　食品中の残留農薬等に係る基準の設定について
２　その他

・<u>第１回「持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた官民協議会」を開催します</u>　　4 月 22 日
＜経済産業省　2022 年 4 月 22 日＞
https://www.meti.go.jp/press/2022/04/20220422004/20220422004.html?from=mj

・<u>第７回産業構造審議会産業技術環境分科会グリーントランスフォーメーション推進小委員会／総合資源エネルギー調査会基本政策分科会 2050 年カーボンニュートラルを見据えた次世代エネルギー需給構造検討小委員会合</u>

同会合　　4 月 25 日
＜経済産業省　2022 年 4 月 22 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/44926
・第 2 回再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会　　4 月 27 日
＜経済産業省　2022 年 4 月 22 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/44947
1. 再生可能エネルギーの発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関するヒアリング
・第 12 回これからの労働時間制度に関する検討会　　4 月 26 日
＜厚生労働省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=yzEVlfSgSDp5LCJZY
　　労働時間制度に係る個別の論点等について②
****
[8] *その他*
◇*インフルエンザ、感染症関係*
・群馬県における豚熱の確認（国内 80 例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について
＜農林水産省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422_4.html

・ベルギーからの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について
＜農林水産省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422.html
・米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について
＜農林水産省　2022 年 4 月 22 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422_3.html
----
◇*その他*
・女性限定の教授公募、SNS で論争　ポスト難で「心折れる」との声も
＜朝日新聞　2022 年 4 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASQ4Q72PXQ4LUNHB00S.html
　東北大大学院工学研究科は今年度、女性に限った教授職（任期なし）5 人の公募を始めた。現在 123 人中 2 人しかいない女性教授を 7 人に増やし、女性の割合を 1・6%から 5・5%に高める。男女格差の解消をめざす思い切った取り組みだが、SNS 上などで論争も起きている。
　東北大は特に理系の女性研究者が少ない現状を変えようと、力を入れてきた。今月 5 日には、多様性、公正性、包摂性を理念に掲げた「ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI）推進宣言」を発表。女性限定公募は、その目玉策と位置づける。
　対象分野は機械系、電気・情報系など工学全般。採用されると独立して研究室を運営し、助教 1 人を雇うことができる。パートナー帯同で働きやすいよう、他大学や企業に所属したままのパートナーを雇用するクロスアポイントメントも可能とした。女性教員の採用枠を設けた大学は他にもあるが、ここまで支援に踏み込むのは珍しい。公募は続いており、締め切りは 8 月 1 日。着任は来春を予定する。
　同大では、博士課程の女子学生比率は 1992 年の 5・7%から 2021 年は 30・9%に増えた。一方で 21 年の女性教員は 18・4%、助教や助手を除いて教授、准教授などに限ると 12・5%にとどまる。まだ「ガラスの天井」があるのが現実だ。
　だが、大隅典子副学長（医学系研究科教授）がツイッターでこの公募を紹介したところ、「性別が理由で応募できないというのは心に来るなー」などと、否定的な声が複数寄せられた。博士号を取得したのに大学の正規ポストにつけない「ポスドク（博士研究員）」の問題などを背景にした、主に若手男性からとみられる不満だった。
「女性限定公募」が生んだ議論
　大隅さんは「『女性限定公募…

・戦争の悲惨さ、平和の大切さどう伝える　阪大生が豊中市民らと考えた
＜朝日新聞　2022 年 4 月 21 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASQ4P6WPBQ4FPPTB004.html

どうしたら戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えられるか。大阪大学の学生たちが昨年春から大阪府豊中市民や市職員と一緒に、市立人権平和センター豊中の平和展示室のあり方を考えてきた。ロシアのウクライナ侵攻が起き、平和や戦争を改めて見つめ直していた。

「1 年の振り返りをして、それぞれの活動を共有したい」。3 月 31 日、同センター豊中の会議室。大阪大の日本学研究室の学生と市民、市職員ら 10 人余りが会議に参加し、この 1 年間の活動を振り返った。

集まったのは平和展示室「語り継ぐ会」のメンバーたち。大阪大大学院生の松永健聖（たけまさ）さん（25）が一昨年夏ごろ、同センター豊中の佐津川晋（しん）館長に「一緒に戦争や平和について何かできませんか」と相談したのが、会の設立のきっかけだった。

大学院で戦後の占領期の女性たちの生き方などを研究する松永さん。学部生の時に沖縄戦での性暴力を研究したり、教育実習の際に市内の小学校で平和教育に携わったりしてきた。

松永さんの相談を受けた佐津川館長は、市民らとも連携しようと考えた。戦争と平和を学ぶ勉強会に参加していた元小中学校教員らに声をかけ、大阪大の研究室の有志も加わり「語り継ぐ会」が昨春にできた。

平和や戦争に関する絵本の読み聞かせなど大きく五つの取り組みがある中で、松永さんは、豊中空襲などを紹介する展示室を見学する小中学生に配り、考えなどを書き込んでもらう「展示用ワークシート」の作成を担当した。

豊中空襲では、1945 年 6～7 月に計 6 回の空襲で 575 人が亡くなった。展示室には空襲で使われた爆弾の模型や墜落した米軍戦闘機の残骸が並ぶ。

松永さんは知識をただ伝えるだけでなく、展示物を見ながら戦争や平和を考えてもらうシートを作りたかった。小中学生の頃に受けた平和教育の経験も振り返りながら考え、平和教育に関する学会に参加し、学会誌も読んだ。2 カ月ほどかけ、同じチームの元教員らの助言も受け、A4 サイズで 6 ページのシートを作った。

作成中の 2 月下旬、ロシアのウクライナ侵攻が起きた。「戦争は遠いことではない。豊中空襲などがより生々しく感じられた」

シートではこう問いかけた。「平和って何だろう？」「どうして戦争で多くの人が亡くなったの？」

松永さんと同じ大阪大の日本学研究室から参加した野田朝香さん（23）は、ある遺族から市に提供された手紙やはがきを読み解くチームに入った。岡山の部隊にいた兵士の男性が 1945 年夏に書いた全 12 通で、妻や母に宛てたものだ。

「戦況の悪化が伝わり、家族を心配する姿が印象的だった」という野田さん。6 通の内容を中心に平和展示室で紹介し、理解しやすいようにと、登場人物の相関図などを描いたパネルも作った。世代を問わず興味を持ちやすいように、同じチームの男性が手紙などを朗読する様子をビデオ撮影し、展示室で見られるようにした。

「ロシアの侵攻もあって、どうしたら戦争がなくなるのか、考えさせられた。手紙やはがきの展示は小さな取り組みだけど、平和を考えるものとして共有されていけば」と話す。

語り継ぐ会に参加する小田康徳・大阪電気通信大学名誉教授（日本近代史）は「学生たちは豊中という身近な所から戦争を知ったり、当時の資料から戦争の不条理に衝撃を受けたりと、自ら積極的に取り組む過程でいろんなことを学んだと思う」と話した。

語り継ぐ会はこの春以降も新たなメンバーが加わって活動を続ける。

****

[付録]

◇「パーソナル筋力トレーニング」でのけがや体調不良に注意！

－コロナ禍でより高まる健康志向や運動不足解消の意外な落とし穴！？－

＜国民生活センター　2022 年 4 月 21 日＞　https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20220421_1.html

https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20220421_1.pdf

スポーツ庁の調査によると、新型コロナウイルス感染症の流行後、運動・スポーツを実施する意欲を持つ人の割合が増加し、また、実施時には、三つの密（密閉・密集・密接）の条件がそろう場所で実施しない、人と人の間隔を意識して実施する、といった感染対策を重視している人が多いとされています。そのような中、多くの人と接近する場を避け、トレーナーから 1 対 1 で指導を受ける「パーソナル筋力トレーニング」があります。その指導を受ける範囲は、トレーニングに留まらず、日々の食事指導にまで及ぶものもあります。

国民生活センターの「医師からの事故情報受付窓口」には、2021 年 6 月に、筋力トレーニング指導や食事指導を受けていた消費者が、スポーツジムにおいて、パーソナルトレーナーの指導により、前屈位の状態で重量のあるバーベルを上げるトレーニングを行ったところ、腰椎（ようつい）骨折等の全治 1 カ月以上を要する重傷を負った、という事故情報が寄せられました。

また、PIO-NET にはパーソナル筋力トレーニングでの危害に関する相談が、2017 年度以降の約 5 年間に 105 件寄せられており、その 4 人に 1 人は治療に 1 カ月以上を要し、中には「神経・脊髄の損傷」、「筋・腱の損傷」をした人もいました。

そこで、パーソナル筋力トレーニングにおける事故について情報を取りまとめ、消費者に注意喚起することとしました。

主な事例

パーソナルトレーナーの指示によるトレーニングで腰にしびれや痛みが生じた

ジムのパーソナルトレーナーの指導で筋肉痛のようになり治療を 2 カ月以上継続

パーソナルトレーニングジムでバーベルを持ち上げる動作により腱板（けんばん）損傷

消費者へのアドバイス

トレーニングを始める前に、運動習慣や体力等の調査、マシン等を使用した体力テストなどが実施された上でトレーニングプランが作成されることを確認しましょう

トレーニング中に違和感を覚えたときは、無理をせず中断しましょう

異常な痛みを感じたり体調が悪くなったときは、トレーナーやフィットネスクラブ等に伝えた上で、必要な場合は医療機関を受診しましょう

事業者への要望

パーソナル筋力トレーニングは、トレーナーの指導の下で実施されますが、けがや体調不良の事故情報が寄せられており、件数は増加傾向にあります。中には、骨折等で治療に 1 カ月以上を要した事例もみられます。

パーソナル筋力トレーニングでのけがや体調不良の未然防止のため、トレーナーが個々の消費者に合った適切な指導を行うことができる仕組み作りなど、安全性向上に取り組むことを要望します。

パーソナル筋力トレーニングの指導を受ける消費者に合ったトレーニングプランが作成されることを要望します

パーソナル筋力トレーニングを指導するトレーナーが安全管理を行い、個々の消費者に適切な運動強度でトレーニングが実施されるよう要望します

トレーナーの質が確保される仕組み作りを要望します

行政への要望

パーソナル筋力トレーニングでのけがや体調不良の未然防止のため、トレーナーの質が確保される仕組み作り等、業界自主ガイドラインを策定して安全性向上に取り組む事業者等に対して支援を行うことを要望します

パーソナル筋力トレーニングでのけがや体調不良の未然防止のため、消費者への注意喚起、啓発の実施を要望します

◇マグネットパズルの破損に注意

－内蔵された強力な磁石を誤飲した幼児の胃や腸に穴があく事故が発生－

＜国民生活センター　2022 年 4 月 21 日＞　https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20220217_1.html#taiou

https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20220217_1.pdf

2020 年 11 月、国民生活センターの「医師からの事故情報受付窓口」（以下、「ドクターメール箱」とします。）に、「マグネットパズルが破損し、内蔵されていた磁石を幼児が複数個誤飲したため磁石が腸管壁を隔ててつながり、手術を要した。」という事故情報が寄せられました。また、2021 年 10 月にも類似のマグネットパズルが破損し、内蔵されていた磁石を 2 個誤飲したため手術を行ったという事故情報が寄せられました。

これらの商品は、いずれも強力なネオジム磁石を内蔵した、三角形や四角形などの枠状のパーツ同士を磁力により組み合わせ、平面や立体を造形することができる玩具（本資料では、これらを総称して「マグネットパズル」とします。）でした。

国民生活センターでは 2018 年 4 月 19 日に、小さなネオジム磁石そのものを複数個組み合わせて使うマグネッ

トボールの誤飲事故について注意喚起（注）を行っています。マグネットパズルは構造や大きさが異なりますが、破損により内蔵されたネオジム磁石が外部に出て、同様の事故が発生していることから、事故の再発防止のため、消費者に注意喚起することとしました。

（注）「強力な磁石のマグネットボールで誤飲事故が発生－幼児の消化管に穴があき、開腹手術により摘出－」（2018 年 4 月 19 日公表）

マグネットパズルとは

2 枚の枠状の樹脂製パーツの中に複数個のネオジム磁石が内蔵された構造になっています

内蔵されているネオジム磁石は円柱状で、円周方向に回転できるようになっており、別のパーツが近づくとネオジム磁石が回転して S 極と N 極が引き合い、パーツ同士が組み合わさるというものです

さまざまな形状をした枠状のパーツを複数組み合わせることで自由に平面や立体を造形することができるため、幼児や児童の知育玩具として普及しており、類似した形状、大きさの商品が複数の事業者から販売されています

マグネットパズルのような磁石を内蔵した玩具の安全性については、玩具の安全基準である一般社団法人日本玩具協会の ST 基準のほか、EN 規格、ASTM 規格で機械的強度が規定されており、これらの表示がある商品は一定の安全性が確保されていると考えられます

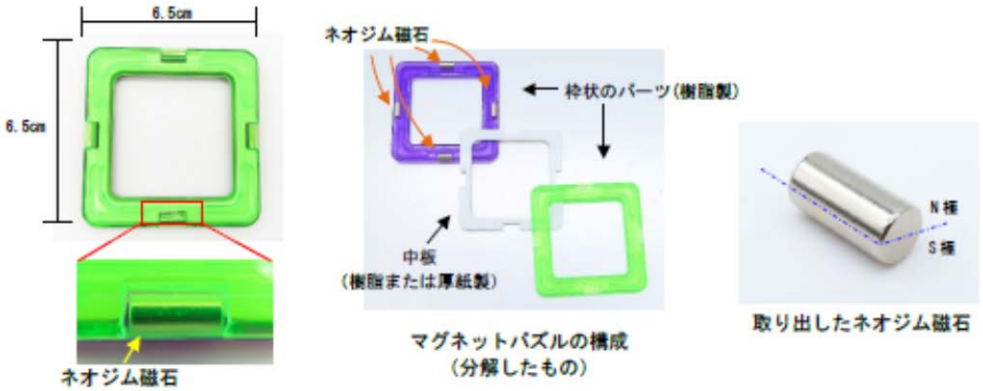


写真 1. マグネットパズルの外観と構成（一例）

ドクターメール箱に寄せられた事故情報

ドクターメール箱に寄せられたマグネットパズルに関する事故情報は、いずれも溶着されている枠状のパーツが分離するように破損し、外部に出た複数個のネオジム磁石を誤飲したと考えられるものでした。

【事例 1】

3 個の磁石を誤飲し、胃及び腸管壁を穿孔（せんこう）

【事例 2】

2 個の磁石を誤飲し、腸管壁を穿孔

事故関連品の外観観察

実際にご家庭で使用されているものの中には破損が大きいものがあり、使用を続けた場合にネオジム磁石が外部に出る可能性がありました

テスト結果

取り出したネオジム磁石の磁束指数

内蔵されているネオジム磁石には強い磁力があり、万一、マグネットパズルから外部に出たものを複数個誤飲した場合には、消化管を穿孔する危険性がありました

表示の調査

マグネットパズルに内蔵されたネオジム磁石を誤飲した場合の危険性についての記載があるものは 7 銘柄中 3 銘柄でした

マグネットパズルを定期的に確認する旨や破損した際の注意事項に関する記載がみられたものは 1 銘柄のみでした

消費者へのアドバイス

マグネットパズルの破損によりネオジム磁石を誤飲し、腸管壁等を穿孔する事故が発生しています。誤飲事故防

止のため、マグネットパズルを子どもに使用させる際は、破損がないことを確認しましょう
万一、ネオジム磁石を誤飲した可能性がある場合には、直ちに医師の診察を受けましょう
誤飲事故防止のため、対象年齢を確認し、対象年齢未満の子どもが触ってしまわないよう留意しましょう

業界・事業者への要望

マグネットパズルに破損がないことを確認する旨の明示と、内蔵されているネオジム磁石を誤飲した場合の危険性について、さらなる周知徹底を要望します
インターネットショッピングモール運営事業者への協力依頼
消費者及び出品者に対し、マグネットパズルが破損した場合、内蔵されているネオジム磁石が外部に出て誤飲事故を招く危険性があることについて、注意喚起の協力を依頼します

行政への要望

マグネットパズルに内蔵されているネオジム磁石の誤飲事故の再発防止のため、消費者へより一層の注意喚起、啓発を行うよう要望します
マグネットパズルに内蔵されているネオジム磁石の誤飲事故の再発防止のため、注意喚起、啓発の実施を事業者へはたらきかけるよう要望します

◇「くしゃみの速度は新幹線より速い」は本当か？　コロナ禍の研究で判明した真の速度

＜YAHOO!JAPAN ニュース　2022 年 4 月 23 日＞
https://news.yahoo.co.jp/byline/kuraharayu/20220423-00291885

「くしゃみの速度は新幹線よりも速い」と書いてある雑誌を子どもの頃に読んだことがあります。私はそれ以来「くしゃみはびっくりするほど速い速度で飛び出す」という固定観念を抱いていました。実は、世界中の科学者がくしゃみの速度を研究しているのです。

時速 360km！？

くしゃみの速度が速いとされる理由は、ウェルズ氏という科学者の報告により**最高時速 360km** と推定されたためです(1)。ウェルズ氏は、結核が空気感染することを証明した、呼吸器内科学における偉人の一人です。
新型コロナはエアロゾルを吸入することによって感染することがありますが、常時 N95 マスクを要する感染形式ではないことから、ウェルズ氏が言ったような古典的な空気感染とは別の用語を再定義すべきという論争が起きています。この議論については、今回は割愛させていただきます。
さて、ウェルズ氏が推定したくしゃみの時速は、実測ではなく推定値です。しばしば「新幹線より速い」とセンセーショナルに取り上げられることがあり、私が子どもの頃に読んだ本もそうだったに違いありません。

最先端の科学で速度を測定

くしゃみ速度を測定する場合、飛沫の速度を測定するのか、空気の流れ(気流)の速度を測定するのかによって、観測値が異なります。
たとえば、ストロボ撮影で飛沫のみを追った場合、初期の実験では時速 166km という速度が得られています(2)。これも古い研究結果であり、現代においては不正確という指摘があります。
ところが 2013 年、とある論文で、「くしゃみはそこまで速くない」という見解が発表されました。成人被験者 6 人の複数サンプルを用いたところ、飛距離から推定された速度は最大で**時速 16.2km** だったのです。私たちが人間が走る速度くらいです。
しかし、くしゃみの「初速」はさすがにそこまで遅くはないだろうという見解がありました。確かに、くしゃみの速度は一定ではありません。初速は速く、その後おそらく急激に減速することは感覚的に理解できます。そのため、正しい「初速」を測定する技術が必要でした。
ここで登場したのが高周波の粒子画像流速測定法(PIV)です。目に見えない気流の動きを可視化し、解析する、紛れもない世界最先端の技術です。
コロナ禍において、咳やくしゃみに注目が集まるさなか行われた研究によると、10 人の健康な若者のくしゃみの速度は、**最初の 0.02 秒でピークに達し、最大瞬間速度は時速 57.2km という結果**になりました(4)。速度は 0.02 秒を中心にガンマ分布に近いパターンになります(図 1)。

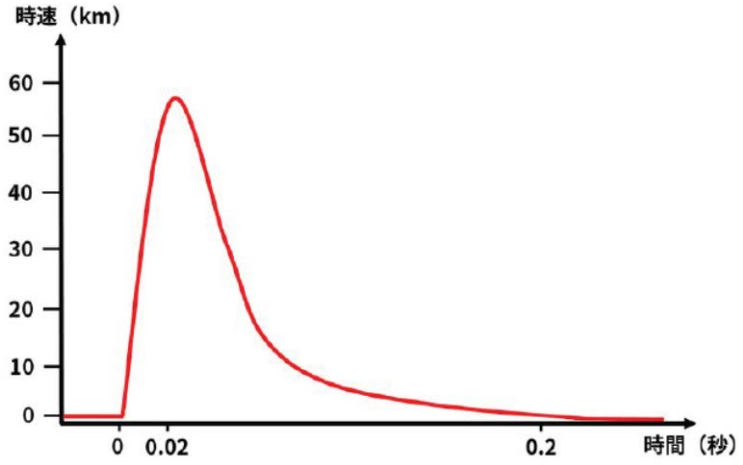


図1. くしゃみの速度（参考資料4をもとに簡略化し筆者作成）

くしゃみの飛距離は？

ちなみにくしゃみの飛距離は、これまで2～3m程度と考えられていましたが、条件によっては「ガス状の雲」に変化して最大7～8mに到達することがあります(5)(**図2**)。

まとめ

最新の研究によると、**くしゃみの速度は新幹線ほどは速くないが、自家用車くらい速いこ**とが分かりました。なるほど、言われてみればそのくらいの気がします。

条件によっては、かなり遠くまでガス状の「くしゃみの雲」が到達するため、コロナ禍であろうとなかろうと、密な場所でマスクなしでくしゃみをするのは避けたいところですね。

（参考文献）

(1) Wells WF. Airborne Contagion and Air Hygiene: an Ecological Study of Droplet Infection. Cambridge, MA: Harvard University Press. 1955:423.

(2) Jennison MW, et al. Proc Roy Soc Exp Biol & Med. 1940;43:455-458.

(3) Tang JW, et al. PLoS One. 2013;8(4):e59970.

(4) Han M, et al. Build Environ. 2021 Nov;205:108293.

(5) Bourouiba L. JAMA. 2020 May 12;323(18):1837-1838.

********** 以上 **********